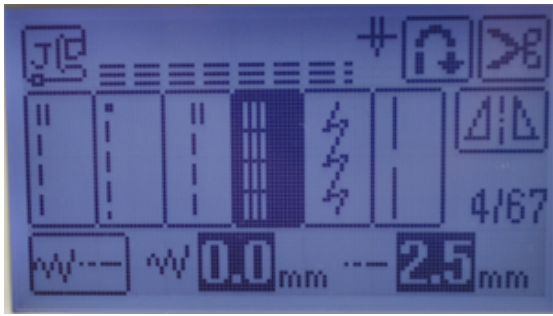




ラグランTシャツの作り方



よく伸びるニットの縫い方

普通の縫い方だと糸が切れるのでニット用のレジロン糸を購入してください

図のような三本線の柄を選択上糸の調子を強めにして縫ってください

これだとかなりの伸縮でも耐えます。

あまり伸びないTシャツ生地だと右隣の雷状の伸縮縫いという機能が使えればこちらを使うといいですよ。



布の印のつけ方や
接着芯の貼り方は
縫う前の下準備で
詳しく説明しているよ
まだ見たことがない
人は先に見てね!

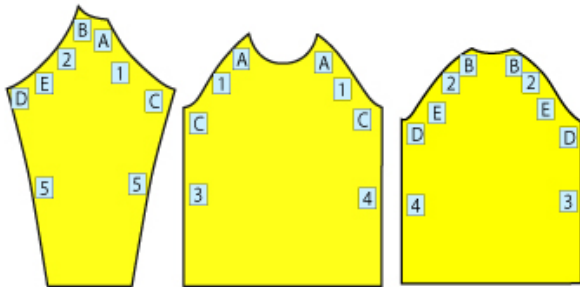
→ 縫う前の下準備

■ 表 ■ 裏 ■ 接着芯

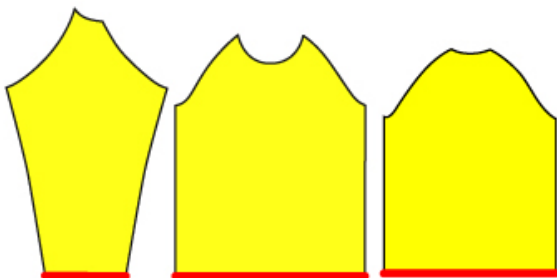
裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。

型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。

お洋服に模様や刺繍を入れたい場合はこの時点で入れておくと楽です。



メンディングテープ等に型紙の番号を書いて貼っておくと縫い合わせる場所がわかりやすいですよ。



ほつれ止めをしてください



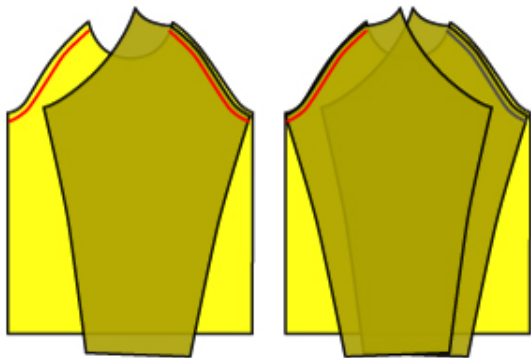
ニットのほつれ止めは左のように点線のジグザグを使います。裁断した全てのパーツの端をほつれどめをください。



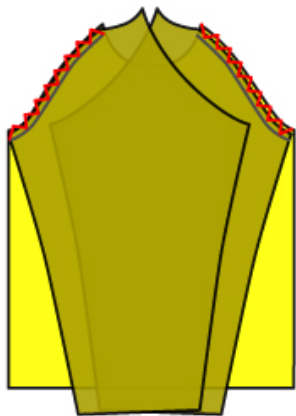
ニットは縫っているとどんどん伸びたりずれたりして長さが合わなくなったり、べろべろに伸びたりします。

そこで細かい番手の紙やすりを帯状に切って、布と押えの間にはさむと、伸びやズレが減ります。

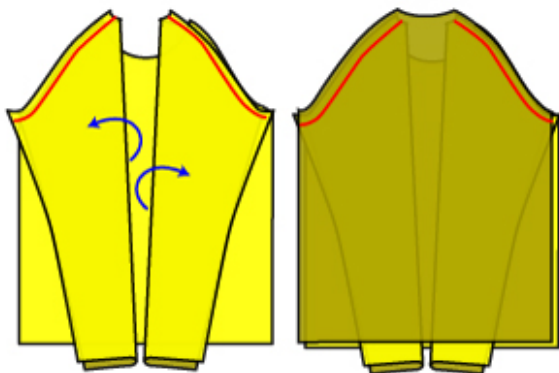
※一緒に縫わないように注意。



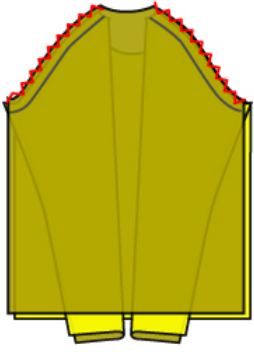
前身頃(胴体)にそでを内側が表になるように重ねてください。
端から1cmの所を縫ってください。



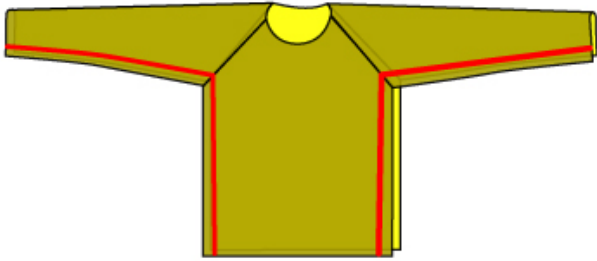
2枚一緒にほつれどめをしてください



後身頃(胴体)とそでを内側が表同士になるように重ねてください。
1cm幅で縫ってください。

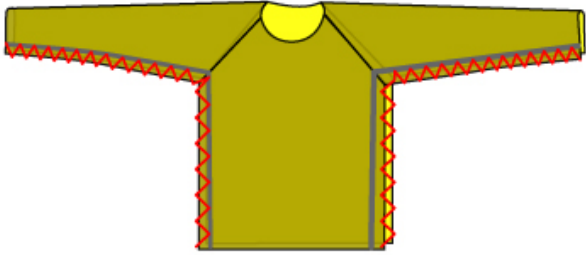


2枚一緒にほつれどめをしてください。

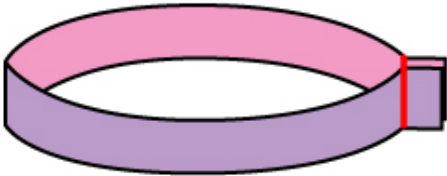


さい。

そで口から脇までを1cmの幅で縫ってくだ

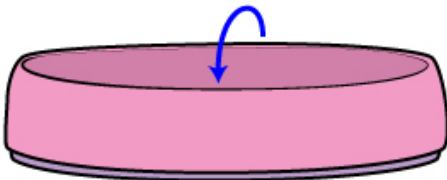


前後2枚あわせて一緒にほつれどめをしてください。



い。

えりを半分に折って縫い代を縫ってくださ



えりを二つ折りにしてください。



えりを身頃(胴体)の上に重ねてください。
端が2枚重なった側のえりを、身頃のえりくびに合わせてくださ
い。
型紙に書かれていたFNPやBNPの印の位置同士を合わせて
ください。
1cm幅で縫ってください。

	<p>えりとえりくびを一緒にほつれどめしてください。</p>
	<p>チャコペンでそで口とすその内側に4cm平行に線を引いてください。</p>
	<p>4cmの線に布の端を合わせて折ると綺麗に2cmの幅に折ることができます。 1.5cmの所を縫ってください</p>

必要な材料

表生地、ニット糸、ニット針

オススメの生地

天竺 市販のTシャツでよく使われている生地です。

ニットテープ

別の色でそでやえりをくるみたい場合

すでに折ってあるニットのバイアステープです